

1 はじめに

本校では毎年全校生徒一人一人が生徒会のスローガンを考え、それをもとに、生徒会役員で話し合って決定している。今年度は、「善深」というスローガンを立てて活動してきた。このスローガンには、「善い」方向に「深く」進歩してほしいという意味と、善く、深く自分で考え、河中がより前進できるように行動してほしいという思いが込められている。学校内にスローガンのポスターを掲示したり、体育祭・文化祭のスローガンにも「善深」という言葉を用いたりして、年間通して生徒が生徒会スローガンを意識できるようにした。

また本校では「河中5つの誇り」という、一年を通して重点目標としているものがある。生徒一人一人が5つの目標を意識して生活することで、河中生としての誇りをもつことができるようにするものである。

河中5つの誇り

- ①誰とでも交わし合う明るいあいさつ
- ②時間を意識した学校生活
- ③きれいな学校・地域をつくる清掃活動
- ④心を通わせ美しく響く歌声
- ⑤目標に向かって仲間と励む部活動

2 資料（実践事例、写真等）

(1) 生徒総会

今年度の生徒総会では、事前に Teams で全校アンケートを実施し、各委員会への質疑応答や学校規則の検討を行った。また、毎週実施しているあいさつ運動の実施方法の見直しや、いじめ撲滅宣言の内容についての確認を行った。今年度は新たに「SDGsの推進」を重点活動にし、雑紙回収や若竹祭、各委員会の活動などで成果が見られた。



(2) あいさつ運動

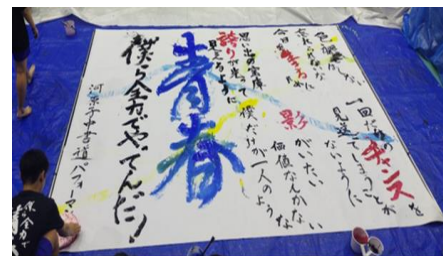
あいさつ運動は毎週水曜日の朝、部活動ごとに実施している。昨年度までの反省を踏まえ、挨拶で地域を元気づけるために挨拶の質を上げることを目標とした。各部活動が毎週目標に掲げあいさつ運動に取り組むように改善したことで、通勤途中の方があいさつを返してくれるなど、顔を上げて元気よく挨拶をする姿が増えた。生徒たちもやりがいを感じて活動している。

(3) 地域を元気づけよう大作戦

一人暮らしをしている地域のお年寄りに花を手渡して元気になってもらう活動として始めたものであり、今年度は手紙とかすみ草(花言葉:感謝)の種子を送った。多くの方から、お礼の手紙や電話をいただいた。

(4) 若竹祭

生徒全員が7つの部門で構成する実行委員会に所属し、事前準備から当日の運営、片付けまで生徒主体で行った。会場部と作品部は、スローガンをもとに全校制作や会場の装飾を行った。当日も、開会セレモニー・ビブリオバトル・有志発表・書道パフォーマンス・合唱コンクールなど、それぞれがとても充実しており、生徒中心の思い出に残る行事となった。



3 成果と課題

生徒会役員が中心となって、生徒が主役となる特別活動の充実を図ってきた。生徒一人一人の役割を明確化することで、生徒が行事等に自主的に取り組む姿が見られた。今後も生徒の自主性を尊重した生徒会活動を行い、学校教育目標である「自立・自律」した姿を目指したい。